

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		災害時の情報伝達に関する整備事業						予算事業名		災害対策関係経費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	災害対策基本法				
			09	01	05	0501	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業					
	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)												
	①防災対策の充実						担当課係等	防災安全課					
	その他							消防防災係					
事業期間		新規 (令和 3年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
災害時の情報伝達に必要な防災行政無線の維持管理及び計画的更新・利活用を行う。過去の災害を教訓とした避難所等及び自治会公民館での情報発信及び災害時の情報共有のためのシステムの確立をめざす。							平成23年の東日本大震災の課題を解決すべく防災行政無線を設置する。その後、平成27年の関東・東北豪雨や令和元年の東日本台風により災害時の情報伝達の多様化が必要となっている。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
防災行政無線の拡声子局のバッテリー交換 防災行政無線保守点検業務委託 避難所へのデジタル簡易無線外部アンテナ設置 避難所への戸別受信機及び外部アンテナ設置 自治会の公民館への戸別受信機外部アンテナ設置							結城市民, 市職員						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							平成26年～平成28年に設置した拡声子局が設置後5年以上経ち、バッテリー交換の必要が発生している。 令和元年東日本台風では避難所での情報伝達手段がなかったため、水位情報等の避難に必要な情報を市民に発信できなかった。近年頻発している災害に対応すべく、職員参集方法や災害対策本部からの情報伝達の手段の見直しが必要である。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
防災行政無線の拡声子局のバッテリー交換 防災行政無線保守点検業務委託 避難所へのデジタル簡易無線外部アンテナ設置, 戸別受信機及び外部アンテナ設置 自治会の公民館への戸別受信機外部アンテナ設置				防災行政無線の拡声子局のバッテリー交換 防災行政無線保守点検業務委託 避難所へのデジタル簡易無線外部アンテナ設置, 戸別受信機及び外部アンテナ設置 自治会の公民館への戸別受信機外部アンテナ設置				防災行政無線の拡声子局のバッテリー交換 防災行政無線保守点検業務委託 避難所へのデジタル簡易無線外部アンテナ設置, 戸別受信機及び外部アンテナ設置 自治会の公民館への戸別受信機外部アンテナ設置					
■事業費													
			R01年度		R02年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	3,953	3,783						
歳入計(千円)			3,953		3,783								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)								
	12	委託料	3,672		3,783								
	14	工事請負費	281		0								
歳出計(千円)(A)			3,953		3,783								
伸び率(%)					-4.30								
備 考	総合計画 ページ 予算書 ページ												

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	バッテリー交換拡声子局交換	箇所	目標	0.00	0.00	17.00
	防災行政無線の屋外拡声子局のバッテリー交換		実績	0.00	0.00	0.00
	避難所への簡易無線及び戸別受信機アンテナ設置	箇所	目標	0.00	0.00	12.00
	避難所及び福祉避難所へのデジタル簡易無線及び戸別受信機の設置及び外部アンテナ設置		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	バッテリー交換拡声子局交換	箇所	目標	0.00	0.00	17.00
	防災行政無線の屋外拡声子局のバッテリー交換をした子局数		実績	0.00	0.00	0.00
	簡易無線及び戸別受信機アンテナ設置避難所数	箇所	目標	0.00	0.00	12.00
	デジタル簡易無線及び戸別受信機の設置及び外部アンテナ設置した避難所及び福祉避難所数		実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	防災行政無線のバッテリーが耐用年数を経過しており、災害時に市民への情報提供手段を確保するためにも交換は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	防災行政無線の所有者は市であり、市以外では設置はできない。
	手段の妥当性	A 妥当である	防災機器関係の工事や委託は専門業者でないとできない。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	防災機器関係の工事や委託は専門業者でないとできない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民全体への情報提供であるため、受益者に偏りはない。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
災害対策関係事業とは別に災害時の情報伝達は重要であるため、独立した事業で進める。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 防災行政無線拡声子局のバッテリー交換時期を把握したうえで、計画的に交換する。 避難所、自治会公民館へのアンテナ設置の必要性を把握したうえで、計画的に設置する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	